



2月9日(日)

14:00~16:00

入場無料・予約不要

神戸市灘区鶴甲3-11

神戸大学大学院人間発達環境学研究科

C棟111教室

I

即興演奏の実演

演奏：北川修一（セタール、タール）

立岩潤三（タブラ・バヤ）

谷正人（サントウール）

II

シンポジウム

パネリスト：北川修一

立岩潤三

コーディネーター：谷正人

（本学准教授 表現系講座）

# 即興演奏を 考える



本シンポジウムは、民族音楽学の立場から、即興演奏という現象について、文化化された見えないルールに「制約」を受けているという立場から考察を行う。実演を交えながら、特に「自由」の概念そのものが多様であることをイランやインド音楽を中心的な事例として議論する。

## 出演者

---

### 北川修一

長年にわたりイランに在住し、タンブールをアリーアクバル・モラーディ、セタールをディナ・サフアーリー氏に、タールをイーラジ・ダシュティザーデ氏らに師事。

現在は演奏活動のほか執筆活動にも従事しており、最近では『クルド人を知るための55章』(明石書店)において、クルドの楽器に関して1章を担当。テヘラン大学ペルシャ語文学研究科修士課程修了

### 立岩潤三

タブラ・バヤを吉見征樹／ブラフラー・アタリーに、ダルブカをスス・パンパニン／セルダール・バグティルに師事。グレン・ベレスからフレームドラム、ファルボード・ヤードッラーヒからトンバクのプライベートレッスンを受ける。こういった中近東～インドの打楽器で実際にその国の古典音楽／トラッドを演奏すると共に、その可能性を探るべくロック、ポップス、ジャズ、古楽、各種ダンスや舞踊、ライブペイントとのコラボレーション等、幅広いジャンルへのアプローチを行っている。

### 谷正人

大阪音楽大学およびイラン国立芸術大学(サントゥール)卒業。京都市立芸術大学大学院修士課程及び大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了(音楽学)。1998年第1回イラン学生音楽コンクールサントゥール独奏部門奨励賞受賞。現在、神戸大学大学院人間発達環境学研究科 人間発達専攻表現系講座 准教授。著書に『イラン音楽一声の文化と即興一』(青土社2007年、第25回田邊尚雄賞受賞)など。

